



南座 耐震補強大規模改修工事計画と新開場に関するお知らせ

松竹株式会社（東京都中央区 代表取締役社長：迫本淳一）が保有、経営する直営劇場、南座（京都市東山区）につきましては、京都の歴史的景観に溶け込んだ現在の建物を保存活用し次代へ継承発展するために、耐震性能をはじめとする安全性の向上と劇場設備全般の更新を併せた大規模改修工事計画を検討して参りましたが、その概要が纏まりましたのでお知らせ致します。

記

1. 日本最古の歴史をもつ劇場「南座」について

歌舞伎の祖・出雲の阿国が「かぶきをどり」を演じたとされる京・四条河原に建つ南座は、元和年間(1615～1621)に官許された七つの櫓（芝居小屋）の歴史と伝統を受け継ぐ劇場として、江戸時代から平成の今日まで歌舞伎発祥の地で悠久四百年にわたり歌舞伎を上演し続けてきた、日本最古の歴史を有する劇場です。

明治39年より松竹の経営となり、京の年中行事である顔見世興行の連綿たる伝統を守るとともに、大正2年、昭和4年の二度の改築を経て、元和以来の歴史を受け継いで参りました。

昭和4年(1929)に当時の技術の粋を尽くして竣工した現在の南座は、官許の証である櫓を備えた桃山風、破風造の外観を特徴とする建築であり、日本を代表する劇場のひとつとして、戦前、戦中、戦後の混乱期にも演劇の灯を絶やすことなく、建築以来八十余年の風雪に耐えて皆様に愛されて参りました。京都の歴史的景観に溶け込んだ名建築は、国の登録有形文化財に登録され、京都市の歴史的意匠建造物にも指定されております。

2. 工事計画のコンセプト

今回の改修工事は、昭和初期に建築された建物の文化財としての価値や劇場のもつ魅力の保存継承と、数多の名優達による名舞台の数々を支え、多くのお客様にご愛顧いただいた南座の劇場空間が生み出す品格や華やぎなどの唯一無二の魅力を次代へ継承発展することを主眼に、「伝統を保存修復し次代へ継承発展する」ことをコンセプトと致します。

まず、お客様に安心安全かつ従来以上に快適にご観劇いただける劇場となることを第一に、耐震補強工事を実施すると共に、劇場設備全般を一新致します。特に、耐震補強工事においては、設計施工における最高の技術を導入、劇場空間を損なわない形で耐震性能基準値を満たすように計画し、第三者判定による計画認定を取得しました。加えて、舞台設備の更新に伴う機能向上を図り、歌舞伎を始めとする伝統的公演はもとより、最新の技術や演出による新たなコンテンツ等も上演し、新しいライブ・エンタテインメントを発信する拠点としての役割を担って参ります。また、増大する訪日観光客に多彩な日本文化をお楽しみいただく為の対応等を整備し、観劇時の満足度向上も目指して参ります。

日本を代表する国際文化都市・京都に立地し、日本最古の歴史を持つ劇場・南座の価値を最大に活かして次代に継承発展することをコンセプトに「伝統的な古典芸能」から「新たなライブ・エンタテインメント」まで、年間を通して幅広い文化を国内外へ発信する劇場へと新たに生まれ変わります。

- 京都の歴史的景観に溶け込んだ外観の維持保存と継承
- 耐震性能向上による大規模地震発生時の安全性の確保
- 舞台設備の更新等による演出対応力強化と新しいライブ・エンタテインメントの発信
- お客様エリア全域の設備一新による快適性の向上（一部バリアフリー対応含む）
- 歌舞伎公演等の英語イヤホンガイドを始めとする訪日外国人観劇客への劇場サービス

3. 工事の概要

事業主体	松竹株式会社
所在地	京都市東山区四条通大和路西入る中之町 198
敷地面積	1952.6 m ² (590.7 坪)
構造・規模	SRC 造+S 造 地上 4 階 地下 1 階
建築面積	1797.3 m ² (543.7 坪)
延床面積	6521.0 m ² (1972.6 坪)
設計施工	株式会社 大林組
工事内容	建物全域に亘る耐震補強工事及び設備更新工事 ※大林組の独自工法による耐震補強計画にて第三者判定の認定取得
客席数	従来と同程度を予定 【参考：従来は 1,078 席】
舞台寸法	従来通り変更なし 【間口 10 間、高さ 24 尺、奥行 46.7 尺】
竣工時期	平成 30 年(2018 年) 秋 竣工（予定）

4. 新開場の時期と公演名

新開場時期	平成 30 年(2018 年) 11 月（予定）
公演名	南座発祥四百年 南座新開場記念 京の年中行事 當る亥歳 吉例顔見世興行 東西合同大歌舞伎 二代目松本白鸚 十代目松本幸四郎 八代目市川染五郎 襲名披露





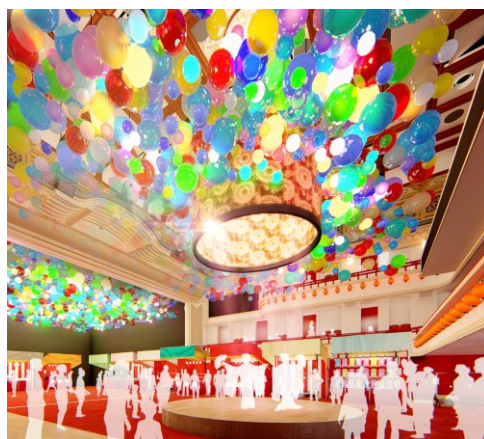
京都の歴史的景観に溶け込んだ桃山風破風造りの近代名建築の外観を維持保存し耐震強化を図ります。



「破風」「折り上げ格天井」「欄干」など日本古来の伝統を受け継ぐ南座の客席空間の華やぎを保存再生致します。



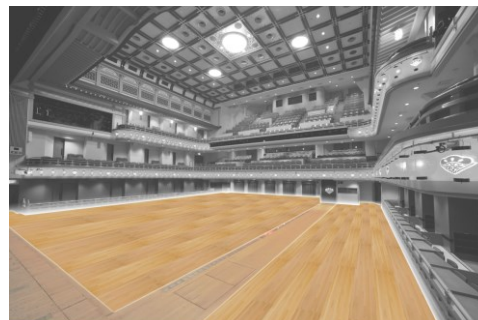
吉例顔見世興行をはじめとする歌舞伎公演はもとより、最新技術を活用する新たなライブ・エンタテインメントにも対応。



観客用エレベーターの新設や、多目的トイレの増設、新設計による観客席の全面リニューアルなどお客様の快適性の向上を図ります。



日本の意匠をモチーフにした昭和初期からの照明器具のシェードを保存再生し光源をLED化。



1階席を舞台面とフラットにできるユニットと客席大天井裏の多目的吊り物フック新設により舞台と客席をシームレスに活用する新たな演出も可能になります。

<本件に関するお問い合わせ先>

松竹株式会社 経営企画部 広報室 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル TEL:03-5550-1526
松竹株式会社 南座 事務所 京都市東山区川端通四条上る 北座ビル 3階 TEL:075-561-1155
松竹株式会社 不動産部 施設室 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル TEL:03-5550-1568